



市長  
黒田実

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

市民のみなさまには、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。旧年中は、市政運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、熊本地震や岩手県・北海道での水害など、各地で災害が発生しました。被災地の早期復旧・復興をお祈り申し上げますとともに、安全・安心への取り組みについて思いを新たにしたいところです。これまで、総合防災マップの作成など、地域の防災力向上に努めてまいりましたが、より迅速な災害対応のためのタイムライン作成や、災害時に行政機能を維持するための事業継続計画など、さらなる防災・減災への取り組みを進めていかなければなりません。

防犯対策としては、この2年で小・中学校通学路を中心に防犯カメラを設置し、市街化区域においては北河内で非常に高い設置率となりました。防犯灯のLED化は今春には全地域で完了し、照度向上と

ともに、消費電力削減となります。

少子・高齢化や人口減少の中、20年後の本市の人口予測は、7万人を下回ります。まちの活力を維持するためには、特に子育て世代を呼び込むことが重要です。35人学級の小学校全学年拡大、待機児童解消など、教育・子育て環境の充実に努めてまいります。

また、本市は健康寿命が府内でもトップクラスです。市民スポーツ、健康づくり、特定健診の受診率向上や地域包括ケアの充実などに積極的に取り組んでまいります。

本年の秋には、新ゴミ処理場の試運転が開始される予定です。循環型社会、低炭素社会に向けた施策をさらに進めていきます。

市長という重責を担い、3度目の新春を迎えます。市長戦略をスピード感を持って進めていくために、学識者・弁護士の間人材登用、金融機関との官民連携など、行政改革や体制強化を図ってまいりましたが、みなさまのご理解とご協力が何より大切です。

本年も市役所一丸となつて取り組んでまいりますので、さらなるご支援を心よりお願い申し上げます。本年がみなさまにとりましてお健やかで幸多き1年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

# 新年のごあいさつ



市議会議長  
野口陽輔

新年明けましておめでとうございます。

市民のみなさまには、ご健勝で希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、みなさまのご支援とご協力により、議会運営に精励することができましたことを、心からお礼申し上げます。

さて、昨今の我が国をめぐる情勢は、国内国外を問わず、非常に目まぐるしく変化しております。

国内においては、急速に進む人口減少や少子高齢化への対応が喫緊の課題であり、本市におきましても、人口減少の克服とともに、

本市の持続的な発展のために、さまざまな施策がなされているところです。市を挙げて、子どもを安心して産み育て、健やかに成長できる環境づくり、高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らすことのできる仕組みづくりに取り組んでおります。

市議会といたしましても、少子高齢化や混沌とする経済状況の中、議決機関である市議会の果た

す役割は大きいと考えております。これまでの議会運営方法だけでなく、新しい考え方も含め、さまざまな方法を模索し、議会を活性化させ、交野市民が安全・安心に暮らせるまち、生き生きと健やかに暮らせるまちづくりの実現に向けて、さらに市と連携を深めながら、最善の努力をしてまいります。

また、市議会におきましては、開かれた議会を目ざし、昨年3月から議会中継を開始しました。議会活動を積極的に配信し、自らの改革にも取り組み、交野市発展のための課題解決に向けて日々努力を重ねております。今後も、市民のみなさまの負託に応えるべく、不断の決意をもって議会改革を果たしてまいります。

「まちづくり」の主旨は、市民のみなさまです。交野市民の生活拠点を念頭に、住み良いまちづくりのために、全力を尽くしてまいります。ご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

結びに、新しい年が市民のみなさまにとって、実り多き年となりますことを心より祈念いたします。年頭のご挨拶とさせていただきます。